

NO 7020		レジメン名		Pembro-FP								
病棟	患者番号	氏名	癌種	ステージ	PS	クール数	指示医師名					
						~						
	年齢	身長	体重	体表面積	GFR(血清クレアチニン値)							
	歳	cm	kg	m ²	ml/min (mg/dl)							
【適応がん種】 頭頸部がん		Pembro/5FU/CDDP		CCr補正	GOT補正	T-Bil補正	【病状】					
1. ペムブロシマブ 200 mg/body DAY1				-	-	-	1 全て説明している					
2. フルオロウラシル 1000 mg/m ² DAY1~4				60~30禁	180~ND	3.1~禁5.1	2 病名は説明しているが、詳しい病状については説明していない					
3. シスプラチン 100 mg/m ² DAY1				30~	-	禁5.1	3 未告知である					
★TSE(伝達性海綿状脳症)説明必要		21日(3週)1クール		WBC基準	HGB基準	PLT基準	【治療】					
				-	-	-	1 抗癌剤による治療・予防と説明					
				T-Bil	Scr	GOT/GPT/ALP	2 抗癌剤とは言わず治療薬と説明					
				-	-	-	3 抗癌剤とは言わず予防薬と説明					
				-	-	-	4 薬に関しては説明していない 平成21年8月12日 登録					
NO	薬品1	規格	本数	薬品2(規格本数)	時間・投与方法							
①	生理食塩水		1 本	50mL	15分で点滴							
②	キイトルーダ()	200mg	1 本	★生食100mL	30分以上かけて点滴							
③	生理食塩水		1 本	50mL	5分で点滴(フラッシュ)							
④	アプレピタント125mg内服(day2~3は80mgを午前中に内服)				③終了後内服							
⑤	パロノセトロンパック		1 本		④内服後~全開で							
⑥	デキサート 6.6mg		1.5 本		デノサリン500mL							
⑥	アスパラギン酸カリウム		2 本									
	硫酸マグネシウム		1 本									
⑦	マンニトール 300mL		1 本		デノサリン終了後~ 30分で点滴							
⑧	シスプラチン()mg	50mg 10mg	本 本	【生食250mL】	マンニトール終了後~ 1時間で点滴							
⑨	ヴィーンF500mL		1 本		シスプラチン終了後~ 1時間で点滴							
⑩	ヴィーンF500mL		1 本		ヴィーンF終了後~ 1時間で点滴							
⑪	デノサリン500mL		1 本		ヴィーンF終了後~ 1時間で点滴							
⑫	デキサート 6.6mg		1 本	生食50mL	全開で点滴							
⑬	フルオロウラシル()mg	1000mg	本	5%ブドウ糖500mL	24時間持続・ポンプ使用							
⑭	生食50mL		1 本		治療薬終了後~ 全開で点滴							
【延期基準】				【注意事項】								
				Infusion reactionの予防が必要な場合は、投与30分前に、ジフェンヒドラミン(レスタミンコーワ50mg内服)、必要であれば、アセトアミノフェン(カロナール300~1000mg)の投与を考慮する。								
【看護師注意事項】												
Infusion reactionとして、発熱、悪寒、そう痒症、発疹、高血圧、低血圧、呼吸困難等があらわれることがあるので、本剤の投与は重度のInfusion reactionに備えて緊急時に十分な対応のできる準備を行った上で開始すること。また、2回目以降の本剤投与時にInfusion reactionがあらわれることもあるので、本剤投与中及び本剤投与終了後はバイタルサインを測定するなど、患者の状態を十分に観察すること。なお、Infusion reactionを発現した場合には、全ての徴候及び症状が完全に回復するまで患者を十分観察すること。 インラインフィルター(0.2又は0.22µm)を使用すること。												
202201改訂												
月日	指示			指示医	受け	監査	払い	払監	調製	調監	前確	実施
			①②③④⑤⑥⑦⑧									
			⑨⑩⑪⑬	DAY1								
			③	⑫⑬	DAY2							
			③	⑫⑬	DAY3							
				⑫⑬⑭	DAY4							